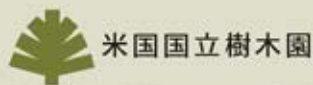


国立樹木園へのアクセス

国立樹木園は、ワシントンDCの北東に位置しており、New York Avenue (Route 50)およびBladensburg Roadからすぐそばです。入口門は、New York Avenueの副道、およびBladensburg Roadを曲ってR Streetにあり、この2つの入口から入園できます。入園や駐車は無料です。

地下鉄メトロの最寄り駅は、ブルーラインおよびオレンジラインのStadium Armory駅です。B2のメトロバスにここで乗り換え、Rand StreetでBladensburg Roadにバスを降りますと、国立樹木園のサインが右側に見えます。R Streetのサインのところに戻り、R Streetを2ブロック歩くと樹木園入口に到着します。



米国国立樹木園

3501 New York Avenue, NE

Washington, DC 20002

電話: (202)245-2726

ファックス: (202)245-4575

www.usna.usda.gov

米国国立樹木園

ビジターガイド



米国農務省
農業リソースサービス

米国農務省は雇用機会均等を遵守しています。

プログラム エイド NO. 309

2006年10月一部改訂

米国国立樹木園





本館およびビジターサービス
当樹木園が新種を市場に紹介する最善の方法は、緑化運動を通じて行われます。さらに、さまざまな水生植物や珍しいコイも本館そばのプールでご覧いただけます。
オナー広場・水生植物・ロビー展示場・オーディトリウム・インフォメーション



アジアコレクション
アナコスシア川を見下ろすこのダイナミックな景観では、中国、韓国、日本を中心とするアジアの温暖地域の植物を収集したコレクションを特徴としています。
日本の森林・アジアの谷・中国の谷・韓国の丘陵・ツバキコレクション



ツツジコレクション
4月下旬にはワシントンDCで最も色鮮やかな、さまざまな種類のツツジが花を咲かせます。ハミルトン山の頂上まで続く素晴らしい景色の遊歩道を散策して、頂上からは連邦議会の眺めをお楽しみください。
グレンデールツツジ丘陵・ミッチェル遊歩道・モリソン庭園・リー庭園



ハナミズキコレクション
多くの素晴らしい種類・珍しい品種のハナミズキが、アナコスシア川の美しい眺めとともに、静寂の中でお楽しみいただけます。
アナスコシア側展望点



シダの谷
原産種のシダ、野草、灌木、そして木々が、米国東部地方に生息する自然のままの姿で植えられています。



フレンドシップガーデン
春の球根植物から、冬のエレガントな観賞用草類にいたるまで、多年草植物を中心とする画期的な造園で、一年中美しい花を楽しめます。
アーバーハウス・ギフトショップ・国立樹木園友の会(FONA)事務所・全米盆栽基金(NBF)事務所



ゴテリー・コニファーコレクション(小型・低成長)
この素晴らしいコレクションは、丘陵地域の5エーカーを占めています。トウヒ、モミ、ミニマツなどが群生しています。さらにこのコレクションには、樹木園が開発・市場に紹介したサルスベリもあります。
ミニマツのワットノンコレクション・トウヒ・モミ



ヒイラギ・モクレンのコレクション
春になると、10エーカーのこの地域に植えられたモクレンがいつせいに花を咲かせます。冬にはヒイラギの赤い実と輝くような深緑の葉が鮮やかです。この地域全体には、樹木園が開発し市場で紹介したモクレンとヒイラギがたくさんあります。



国立盆栽盆景園
日本、中国、北米のデザインの伝統に触発を受けて作られた、素晴らしい盆栽や盆景(中国盆栽)、水石、床の間飾りなどのコレクションは、4つのパビリオンに展示されています。瞑想的な庭園が各パビリオンを引き立てています。
日本、中国、北米、および国際パビリオン・熱帯温室



国立ボックスウッドコレクション
世界で最も完璧なボックスウッドの植生コレクションは、5エーカーの地域にあり、100種以上のツゲ属の種が揃っています。



ナショナルキャピトルコラム
砂岩でできた22本のコリント式円柱はかつて連邦議会の東柱廊に立っていましたが、今では樹木園の中心となっており、絵画のような雰囲気、歴史的建造物です。
花咲く木々の並木道・キャピトルコラム展望点



国立州木森
各州、およびワシントンDCを代表する木々が、米国の森林資源に対する生きている記念碑として、30エーカーのこの森で育てられています。
ピクニックエリア



国立ハーブ園
この2.5エーカーのハーブ園には、世界中から集められた800種以上のハーブがあります。10のテーマ庭園と、コテージ式庭園には、11種の歴史的な分類・種のバラが随伴する植物とともに植えられています。
歴史的バラ・ノット庭園・テーマ庭園



多年生植物コレクション
ラッパズイセン、ボタン、さらに受賞の栄誉に輝くキスゲなどが、2月下旬から7月まで見事に咲き誇ります。
ラッパズイセン・ボタン・キスゲ



青少年ガーデン
この1エーカーの実地参加型ガーデンには、この地域に住む子供たちやその家族が5月になるとやってきます。植物や野菜、ハーブの植え方や手入れ方法、さらに収穫したものを使って、ヘルシーで美味しい食事の準備方法なども学びます。
蝶ガーデン・在来野菜・ハーブ庭園・食用および観賞用花壇



15,000以上もの色鮮やかなグレンデールアザレアが、ハナミズキに似た野生の木々に混じって、ハミルトン山の斜面に咲き誇ります。

上記の写真「Tsukegee」のように、園内のマンサクの花はゴテリーハイマツ低成長種のコニファーの群生エリアでカラフルなアクセントを与えています。

入園口付近にあるナショナルハーブ園は全米でも最大のハーブ園で、季節ごとに変化する花壇が自慢です。

アジアコレクションとアナコスシア川のパノラマビューから中国風の仏塔を見ることができます。

四季のみどころ

春の訪れは、森林地帯に野生の花々が咲く頃です。モクレンは、葉より先に香り高い花を咲かせます。ブルージャスミンや小さなラッパズイセンはオナー広場に豪華なカーペットのように咲き誇り、暖かくなるとサクラも開花します。春も本番になると、ハミルトン山には、何千本という東洋、西洋のツツジでいっぱいになります。ハナミズキ、クラブアップル、ボタン、バラなどが花を咲かせにぎやかな彩りとなります。

夏の到来は、鮮やかではつつとしたキスゲやサルスベリの開花が教えてくれます。さまざまなハーブは、色、質感、香りを調和させながら育ちます。本館そばにあるプールではスイレンが宝石のように輝きます。草原では色彩のタペストリーのようにさまざまな花が咲き誇り、夏の風が草を波立たせるように流れていきます。

秋は、10月下旬の紅葉とともに始まります。紅葉は、ユリノキやクルミの黄色から、ヌマミズキの鮮やかな赤色、そして、さまざまな種類のモミジやハナミズキの濃赤色まで錦に染まります。肌寒くなると、ヒガンバナや原産ハマメリスの花が見られます。

冬は、静寂と沈黙の季節です。雪や氷が、さまざまな庭園を宝石箱のような景色に変えます。ヒイラギは、真っ赤な実を輝かせます。ミニコニファー（針葉樹）、ボックスウッド、そしてタイサンボクが、深緑色の葉をつけて厳しい寒さの中で迎えてくれます。冬の風が、木々の葉や観賞用草類の先端に吹きつけていきます。2月、そして3月初旬にもなると暖かくなるにつれて、ツバキ、ウメ、ハマメリス、ウィンタージャスミン、パニラのような香りのサルココッカなどが花を咲かせます。

国立盆栽盆景園は一年中楽しめるところで、貴重な盆栽のコレクションを鑑賞できます。季節に限らずいつでも素晴らしい盆栽や盆景（中国盆栽）が展示されています。樹木園の草原や森林はもちろんのこと、歴史的なキャピトルコラムもお見逃しなくご覧ください。

1月、2月、3月上旬
ハマメリス、ヒイラギ、ミニコニファー（針葉樹）

3月下旬、4月上旬
モクレン、春の球根植物

4月中旬
森林地帯の野生植物、サクラ

4月下旬、5月
クラブアップル、ハナミズキ、ツツジ、ボタン、バラ

6月、7月、8月
キスゲ、スイレン、サルスベリ、各種ハーブ、草原の野生植物

9月、10月
クラブアップルとその実、各種ハーブ、草原の野生植物

11月、12月
ヒイラギ、コニファー（針葉樹）、ボックスウッド、ツバキ



◀ ナショナルキャピトルコラムは、1820年代にバージニア州産出の砂岩で作られました。1958年に連邦議会の拡張工事中、元の場所であった連邦議会から取り外されました。

当樹木園は、

環境強化のために、科学研究、教育および植

樹木園ご利用について

- 国立樹木園は、金曜日から月曜日の 午前8時から午後5時まで開園しています。火曜日から木曜日、及び12月25日は 閉園日です。
- 国立盆栽・盆景園は、金曜日から月曜日の 午前10時から午後4時まで開園しています。毎週火曜日から木曜日、祭日、及び11月から翌年2月までの間は閉園いたします。
- インフォメーションは 本館(アドミン・ビルディング)にあり、金曜日から月曜日の 午前8時から午後4時半まで オープンしています。火曜日から木曜日、祭日、及び11月から2月までは、ご利用できません。
- アーバーハウス・ギフトショップは、金曜日から月曜日まで、ご利用できます。3月及び10月から12月中旬までのウィークデイは午前10時から午後3時半まで、ウィークエンド及び4月-9月中は、午後5時まで、ご利用できます。12月中旬後から2月まではご利用できません。
- ガイド付ツアー、各種クラス、イベント、ボランティア機会などのお問い合わせは、教育・ビジターサービス(Education and Visitor Services)まで、電話(202)245-4523、あるいはwww.usna.usda.govをご覧ください。
- 国立樹木園は、プライベートや企業用イベントにご利用いただくことができます。場所、料金、その他詳細については、電話(202)245-4565、あるいはwww.usna.usda.govをご覧ください。

国立樹木園友の会(FONA)は、樹木園の各種研究や教育プロジェクトを支援しています。詳細は、電話(202)544-8733、あるいは、www.fona.org をご覧ください。

National Bonsai Foundation (NBF) (全米盆栽基金) 全米盆栽基金(NBF)は、樹木園の国立盆栽盆景園を支援しています。詳細は、電話(202)396-3510、あるいはwww.bonsai-nbf.orgをご覧ください。

園内規則

ご来園の皆様には、多種多様な植物の発見、鑑賞、学習をしていただきたいと願っています。園内の貴重な自然植物を保護・保存するために、皆様のご協力をお願いいたします。

インフォメーションキオスクならびに本館ロビーに掲示されている規則をきちんと遵守していただくようお願いいたします。

- すべての植物、魚、および野生動植物は保護されており、花、葉、種子などを含めて植物採集は全面禁止されています。
- ピクニックは、国立州木森にあるピクニックエリアだけでできます。バーベキュー、キャンプファイヤー、アルコール類は一切禁止されています。
- 当樹木園内では、ラジオをかけたリヘッドフォンなしで音楽を聴いたりする行為は禁止されています。



1960年代の設計である本館は、直立する樹木とその枝の広がり表現しています。

緊急時は、セキュリティ(202)245-4572にまでご連絡ください。

- ベットはつねに紐でつなぎ、花壇に入り込んだり、そこで排泄したりしないように、飼主がしっかり管理されるようお願いします。排泄した場合には、飼主は責任を持って後始末をしなければなりません。本館および国立盆栽盆景園では、ベットの立ち入りは禁止されています。
- ボール遊び、風揚げ、水泳、水遊び、魚釣り、スケート、スキー、ソリ遊び、ローラーブレード、スクーターなどのスポーツ活動は禁止されています。自転車は車道でのみ利用できます。
- 16歳未満の児童は、園内では常に保護者の付き添いが必要です。
- 商業用や婚礼用の写真撮影には、許可が必要で、料金が必要な場合もあります。
- 木登りは禁止されています。
- 園内では車の制限速度は、時速20マイルです。車は指定された場所か、舗装道路に駐車してください。
- 庭園エリアでは、指定された歩道以外には立ち入らないでください。



樹木園の園芸植物研究部門では、2003年に濃ピンク色のサクラ「ファーストレディ」という栽培種を開発しました。

国立樹木園は、米国連邦政府農務省の研究・教育施設であり、生きているミュージアムでもあります。樹木園は、一般市民に仕え、環境の改善に尽くすことを目的としており、その一環として花や造園用植物の改良や新品種開発を行い、科学的な研究、教育プログラム、展示用庭園、および植物の遺伝資源保存を通じて新技術の開発や促進に取り組んでいます。当園は、公教育のための国立施設であり、知的好奇心や美的感覚を満足させる環境の中でご来園の皆様を歓迎いたします。

国立樹木園は、農務省内の主要な研究部門である農業研究サービス局 (ARS) の一部として1927年に設立されました。ARSは、開発のための研究を行い、国家の優先事項である農業問題への解決策として開発・研究の成果を民間に移転します。また、良質で安全な食物や農産物を保証し、米国人の必須栄養項目の査定を行い、競争的な農業経済を維持し、自然資源基盤と環境を強化し、かつ農村部の市民、コミュニティ、社会全体に経済機会を提供するために、情報のアクセスや配布も行っています。ARSについてのさらに詳しい情報は、www.ars.usda.govをご覧ください。

